

		環境教育学専攻		専攻選択科目	
自然保護論 Nature Conservation		1年	後期	2単位	選択 講義
		担当者(部屋番号)			
		藤田 均 (763)			
【 授 業 目 標 】					
<p>自然保護の対象が、天然記念物的な希少性を有するものから、身近な自然、さらには生物多様性そのものまであることを理解し、自然保護の目的、理念、手法について解説する。また各人が、実際のいくつかの自然保護問題について、どう対応すべきか、自らの考え方を整理し、考え方を確立し、人前で発表できるようになることを目標とする。</p>					
【 授 業 方 法 】					
<p>教化書は使用せず、独自の資料を配付し、講義形式で行う。グループ討論、課題についてのボランティアによる研究発表を織りまぜる。また、新聞記事等を活用し、その内容の理解、内容に対する疑問点に、各自、自身の意見を述べるという機会を多く取る。なお、日本の自然の現状と特性については、スライドをまじえる。</p>					
【 授 業 計 画 】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 自然という用語の定義 2 日本の自然の現状と特性 3 自然保護の目的と論理 I 4 自然保護の目的と論理 II 5 生物多様性の保護 I 帰化動植物の管理 6 生物多様性の保護 II 生物多様性国家戦略 7 生物多様性の保護 III 新・生物多様性国家戦略 8 生物多様性の保護 IV イリオモテヤマネコとシマフクロウ 9 自然保護の事例研究 I 捕鯨問題 10 自然保護の事例研究 II スキー場開発と自然保護 11 自然保護の事例研究 III サルとシカの自然保護 12 野生動物の5つの自然保護方策 13 NPO及びナショナルトラストによる自然保護 14 白神山地が世界遺産地域登録で獲得した意味 15 まとめ 					
教科書	なし 授業中に独自の資料を配付する		評価方法	筆記試験又はレポート、出席状況等により総合的に判断する。	
参考書	エルトン：侵略の生態学、Nマイアース：沈みゆく箱舟、アルフレートメラー：恒続林思想、環境六法、環境白書		留意点	特になし。	